

令和4年度 建設水道常任委員会行政視察報告書

1 日 程 令和4年10月31日（月）～11月2日（水）

2 視 察 先 大阪府堺市、兵庫県尼崎市、静岡県浜松市

3 調査事項
堺市

(1) Park-PFI制度による公園活用事業「SUEプロジェクト」について

令和3年10月、「旧泉北すえむら資料館」をリノベーションしたカフェ併設型の民間図書館「Design Ohasu Days」をはじめ、キャンプサイトやパンプトラックなどの施設が、「Park-PFI 制度」を利用した新たな公園活用事業「SUEプロジェクト」として再始動。新たな公園利用者と地域住民が共鳴しあい、暮らしに寄り添う次世代の「ふるさと公園」とすることを目的としている。

については、本市における公園管理運営施策の参考とするため、これらの取り組み状況等について調査した。

尼崎市

(1) 居心地よく歩きたくなる駅前空間創出事業について

市街地再開発事業により、昭和53年に整備された阪急塚口駅南駅前広場は、公共施設の老朽化や自転車と歩行者の輻輳による危険性などが課題となっている。改良にあたって、「居心地よく歩きたくなる駅前空間」となるように整備後の利活用を見据え、市民や事業者等が使いたくなるような駅前広場となるよう取り組んでいる。

については、本市におけるまちづくりの参考とするため、これらの取り組みの現状等について調査した。

浜松市

(1) 浜松市公共下水道終末処理場（西遠処理区）運営事業について

市内に11ある下水道処理区のうち、一番大きな西遠（せいえん）処理区で稼働している3つの施設を、平成30年4月から「運営委託方式（コンセッション方式）」で運営している。選定された事業者の提案によれば、20年間で約86億円のコスト削減が見込まれている。

については、本市における下水道事業経営の参考とするため、これらの取り組みの現状等について調査した。

4 視察委員	委員長	窪田 出	副委員長	小岩井 僚 太
	委員	大澤 智 之	委員	近藤 好 枝
	同	鈴木 数 成	同	笠原 久
	同	鈴木 俊 司	同	石塚 武
	同	岡田 修 一		